

一般社団法人HPCIコンソーシアム平成 27 年度通常総会議事録

[日時]平成 27 年 5 月 28 日（木） 15 時 00 分～17 時 00 分

[場所]東京大学（本郷キャンパス）理学部 4 号館 3 階 1320 号室

[出席理事] 藤井孝藏（理事長）、常行真司（副理事長）、青木慎也、笠俊司
小林広明、関口智嗣、中村宏

[事務局] 畠間晴夫、内山隆、中西秀彦、村田英樹、樋田真里

[定足数等]

総社員数 34 人（定足数 18 人以上）、

出席（代理人及び書面による議決権行使者を含む）31 人（過半数 16 人以上）

【1. 定足数の確認・開会宣言】

- 藤井議長より、平成 27 年度通常総会の開会が宣言された。
- 定足数および出席者数の確認が行われた。正会員の出席者は代理人及び書面による議決権の行使者を含めて 31 人で定足数を満たしており、本総会が成立していることが確認された。本総会の通常議決に必要な過半数は 16 人、また議案 8 号の「定款の改訂について」の議決に必要な人数が正会員数の 2/3 以上の 23 人であることが確認された。

【2. 審議事項】

[議案第 1 号] 平成 26 年度事業報告

- 審議資料 1 に基づいて、各担当理事より平成 26 年度事業報告の説明がなされた。
- 特に、「(2)将来のスーパーコンピューティングのあり方の検討」については、ポスト「京」に関する意見交換会を実施して 7 月に国に提言したこと、およびポスト「京」に関する説明会を開催して「今後の計算科学技術振興のあり方に関する提言（案）」をまとめたことが、ワーキンググループ主査である常行副理事長より報告された。
- 以下の質疑応答が行われ、原案どおり承認された。

[社員指摘] 会員の所属機関で大学を表記する場合は、「国立大学法人」は不要と思われる。

[藤井議長回答] 今後、留意するということで、ご了解頂きたい。

- 議案第 1 号「平成 26 年度事業報告」は原案通り承認された。

[議案第 2 号] 平成 26 年度会計報告および監査報告

- 小林理事より、審議資料 2 に基づいて、会計報告がなされた。
- 中島監事より、予算執行などが適切に会計処理されている旨の監査結果の報告があり、議案第 2 号「平成 26 年度会計報告および監査報告」は原案通り承認された。

[議案第 3 号] 平成 27 年度事業計画および[議案第 4 号] 平成 27 年度予算計画

- 審議資料 3 に基づいて、各担当理事より平成 27 年度事業計画・平成 27 年度予算計画の説明がなされた。
- 議案第 3 号「平成 27 年度事業計画」および議案第 4 号「平成 27 年度予算計画」は、原案通り承認された。

[議案第 5 号] 今後の計算科学技術振興のあり方に関する提言について、および
[議案第 6 号] HPCI システムの運用方針に関する提言について

- ワーキンググループ主査の常行副議長より、審議資料 5 に従って、本提言内容が説明された。
- 藤井理事長より、審議資料 6 に基づいて、「HPCI システムの運用方針について」が説明された。
- 議案第 5 号および議案第 6 号の 2 件の提言は、原案通り承認された。

[議案第 7 号] 理事の交代について

- 藤井議長より、理事 米澤明憲氏から本日付で辞任届が提出されたため後任を選任したい旨が述べられ、選任方法につき議場に諮ったところ、出席社員から議長に指名を一任したいとの発言があり、会員一同の同意が確認された。議長からは、理事会での決議に基づき下記の者を推薦する旨の発言があり、満場一致でこれを承認した。
- 最後に、定款第 20 条第 2 項に基づき、下記の者の任期は前理事米澤氏の在任予定の残期間であることが確認された。

理事 小野 謙二

[議案第 8 号] 定款の改訂について

- 常行副議長より、審議資料 8 に基づいて、定款の第 6 条および第 20 条に記載されている「再任」が誤解を招く表現であったため、本来の主旨に沿った「重任」に変更する提案が説明された。
- 本議案は満場一致で原案通り承認された。

【3. 報告事項】

[報告第1号] 会員の入退会および交代について

- 関口理事より、報告資料1に従って、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの会員の異動として、宇川彰前議長の退会が報告された。また、代表者の変更として、HPCIシステム構成機関で4件、アソシエイト会員で3件が報告された。

[その他1] 平成28年度以降のスパコン「京」の計算資源について

- 文科省より、その他資料1に従って、平成28年度以降のスパコン「京」の計算資源の考え方について説明があった。「政策対応枠」数%の設定、および「産業利用枠」を15%に拡大するなどが現状からの変更部分である。また、主たる検討事項として、①平成28年度における「京」の利用資源の在り方、および②「京」停止期間中の計算資源の確保について、が挙げられた。

[社員指摘] 気楽に使えるチャンスが貴重で、これに使える分野振興という枠があるのは良いことではないかと思う。

[藤井議長回答] 産業利用にはトライアルユースという枠がある。一般利用にトライアルユースがあれば分野振興の部分もある程度吸収できる可能性があるのではないか、という議論が理事会であった。

[社員質問] 新たに「政策対応枠」が設けられるということであるが、関係府省庁というのは、文科省以外の省庁を想定しているか。また、どのようなプロジェクトを想定しているか。

[文科省回答] 例えば、内閣府からImPACT関連で使いたいという話がある。あるいは内閣府の防災計画で「京」を使った東南海や首都直下地震のシミュレーションをしたいという話もある。

[社員質問] トライアルユースができるのは良いことと思うが、審査体制はどうか。

[平尾副議長回答] これまでは、一般利用枠は課題選定委員会が審査を行ってきた。分野振興を考えた場合には、その分野が今後伸びていくかというような長期的展望に立って十分議論した上で採択を決めて頂くことを期待している。

[中村理事] 「京」の停止期間中の計算資源の確保の検討に関連する情報として、基盤センター長会議において、「今後のHPCI第二階層システム検討委員会」を立ち上げることが承認されたので、この機会に報告させて頂きたい。

[その他2] 議事録署名人

- 本総会の議事録署名人として、コミュニティ代表機関から名古屋大学の草野完也氏が、またシステム構成機関から東京大学の川島直輝氏が選任された。




【4. 閉会宣言】

- 藤井議長より、本日承認された審議資料5と6の提言を、6月3日（水）に文科省）常盤研究振興局長に手交する予定であることが報告されるとともに、平成27年度通常総会の閉会が宣言された。

以 上

平成27年5月28日

(理事長) 藤井孝藏 

(署名人) 草野完也 

(署名人) 川島直輝 